様式１

その１

鉄筋工事及びコンクリート施工計画報告書

コンクリート使用材料及び施工

基礎の種類	□直接基礎　{　□ベタ基礎　□布基礎　□独立基礎　} □くい基礎　{　□場所打ち鉄筋コンクリート杭　□既製杭（PHC杭、SC杭、鋼管杭、その他（　　））　}

コンクリート確認項目	施工	使用工法			基準	□JASS5(　　年版)□その他(　　)			
		使用部位	杭	基礎	階～　階	階～　階	階～　階	階～　階	階～　階
		設計基準強度							
		打設方法							
		使用工法					軽量(　)種	モルタル	グラウト
		使用部位	階～　階	階～　階	階～　階	階～　階	階～　階		
		設計基準強度							
		打設方法							

試験・検査計画	品質管理責任者　氏名		工事監理者又は係員氏名	常駐 非常駐
	検査担当者(工事施工者)　氏名			
	検査項目	打込前	□試練　□散水　□配筋　□かぶり厚さ	常・非
		打込中	□テストピース採取　□打込速度・順序　□締固め	常・非
		打込後	□養生方法　□養生温度　□打込欠陥	常・非
	エア・スランプ試験等の代行業者名		登録番号　採　　号	
	供試体の養生場所・管理者			
	構造体コンクリート試験機関名		Fc36N/mm^2　以下の場合　都登録第　　号 Fc36N/mm^2　超の場合　都登録第　　号	

鉄筋使用材料及び施工

使用鉄筋	種別	SD295	SD345	SD390	SD490	その他(　　)
	使用径	D　～D	D　～D	D　～D	D　～D	D　～

鉄筋確認項目	施工	継手種類	圧接継手		機械式継手		溶接継手		重ね継手(その他)
		使用箇所							
		継手工法名（溶接材料）							
		継手施工会社(優良圧接業者)							
			A　級	その他	SA，A級	その他	A　級	その他	
		技量確認・施工前試験							
		冷間直角カッターの使用							
	試験・検査計画	外観検査(%)							
		引張試験　(箇所／ロット)							
		超音波探傷・測定検査 (箇所／ロット又は%)							
		引張試験併用							
		引張試験機関名	都登録　第　　号						
		非破壊検査機関名	都登録　第　　号 検査者　　資格						
		外観検査実施者	工事監理者・工事施工者／検査機関　都登録　第　　号 検査者　　資格						
鉄筋コンクリート工事重点管理項目									

（日本産業規格A列4番）

その２

レディーミクストコンクリート工場名※1					
JIS認証番号		認証品目		運搬時間	

コンクリートの設計及び仕様による条件

番号 枝番	打込箇所 打設期間 適用期間	※2 コンクリートの種類１ ※3 コンクリートの種類２	設計基準強度(N/mm²) 品質基準強度(N/mm²) 呼び強度(調合管理強度)	強度管理材齢(日) 養生方法 判定基準強度(N/mm²)※4	セメントの種類 スランプ スランプフロー(cm) コンクリート温度(℃)※5

（注意）１　レディーミクストコンクリート工場が複数ある場合は、工場ごとに作成する。
２　コンクリートの使用骨材による種類を記入する。
３　コンクリートの使用材料・施工条件・要求性能などによる種類(通常、寒中、暑中、軽量、流動化、高流動、高強度、マスコン、プレストレスト、水中、水密)を記入する。
４　高強度コンクリートの場合は、Fc＋mSnのそれぞれの項の値を(　)内に別途記入する。
５　高強度・マスコン・暑中・寒中コンクリートについては、必ず記入する。

（日本産業規格A列4番）

その３

コンクリート試験計画及び鉄筋試験・検査計画一覧								
番号	打込箇所	打込期間 （　年　月　日）	コンクリート圧縮強度 試験回数　※6	番号	鉄筋接合 箇所 （継手種類）	継手予定 （　年　月　日）	鉄筋引張 試験回数※8	超音波探傷・測定検査 （箇所/ロット又は%）
枝番		打込予定数量 （m^3）	うち防災センター 試験回数※7	枝番		継手予定数量	うち防災センター 試験回数	引張試験併用